

**東部地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会
(港町・東前町・浜町・新浜町)
議事要旨**

記

- 日時 平成27年10月24日(土)14時00分～16時00分
- 場所 イオンタウン釜石1Fイベントスペース
- 次第
 1. 挨拶
 2. 工事進捗状況及び発注スケジュールについて：都市整備推進室
 3. 国道45号東側の宅地割り込み状況について：都市整備推進室
 4. グリーンベルト整備状況について：都市整備推進室
 5. 港町2号線道路整備状況について：都市計画課
 6. 釜石駅前広場の改修について：都市計画課
 7. 復興公営住宅の整備状況について：復興住宅整備室
 8. 東部地区集会所の整備について：市民課
 9. フロントプロジェクト1について：リーディング事業推進室
(情報交流センター・市民ホール等)
 10. 汐立雨水ポンプ場について：下水道課
 11. 意見交換

浜町に 6.4m の嵩上げがどうしても必要なのか？その理由を教えてください。

→ 国道 45 号線よりも西側のエリア(大町側)に関しては数 10 c m ですが東側(浜町側)に関しては、バス通りを境に 6.4m となります。標高にして 8m の高さですが、なぜこの高さを確保しなければならないかという、復興計画を作る際に何度も行った「津波シミュレーション」で導き出した造成高に基づくものでございます。グリーンベルトも、同じ 8m の標高で作られています。この高さが確保できれば、住宅が建てられる区域は東日本大震災クラスの津波が起きた場合でも、数 10 c m 程度の浸水に抑えられる計算となります。

浜町 1 丁目は 6 m だが、魚市場は何メートルの盛り土か？ 4 m の高低差を上っていくのは大変ではないか？

→ 岩手缶詰のある場所は、約 1.2m の嵩上げとなります。1.2m から 6.4m まで上がることとなり、坂道となるが、道路構造令に則った道路を作っていく予定です。

①グリーンベルトについて。当初は第 3 堤を作る目的のはずだったが、いつの間にか、避難路にする名目になっている。どうゆう事情で整備されるのか、住民に説明すべき。また、このグリーンベルトを整備する予算はどこから出しているのかも教えてください。

②産業用地について。魚市場加工団地だが、計画進行が現在どのようになっているのか。情報が小出しにしか出てこないが、明らかにしたほうがいいと思う。

③少子高齢化の問題があるが、東部地区において、果たしてこの規模の復興公営住宅を建てる必要があるのかどうか、しっかり考えられているか？震災から 4 年も経っているのだから、役所として見通しを立てていくべきだと感じる。

→ ①グリーンベルトの整備費については、社会資本整備総合交付金で賄います。避難路として整備しますが、副次的効果として津波浸水に対して、低減効果が確認されています。

②魚市場加工団地については地権者との用地交渉は一律ではなく、難航している土地もあるのが現状です。岩手缶詰の場所は、早い段階で用地確保ができたため、先に工事が可能でした。その他一部用地確保できた場所は、今後説明会を行い事業者を決めていきたいと考えています。

③少子高齢化問題に関しては確かにそうであり、今後も見通しを立てていく中で人口問題を含め、計画を調整していきます。

①整備後のバス通りはどこを通る予定か？

②バス通りまで出るのが高齢者にとっては大変なので、小型バスでもよいので現在のバス通りから奥まで入ってくる様なことを考えた方がよいのではないかと。

→ ①整備後も、ルートは変わらない予定となっています。

②坂の上については、道路も狭く転回が出来ないので現状は難しいと感じますが、随時検討させていただきます。

市としては、企業誘致を優先して努力していると思う。但し、そこに足りないものがあると感じる。住民たちに対して公害関係の問題があってはならないと思う。

そのあたりの情報公開をし、行政の透明性を高めて欲しい。

→ 釜石市の企業誘致に関しての姿勢だが、雇用の場の確保を考えながら検討しています。その中で、環境面に於いての配慮もしている。排水等についても環境基準に合わせて施設整備を行っています。ご理解をいただきたいと思えます。

①仮設道路検討ルート図の高さだが、どの程度嵩上げする予定か？

②造成工事完了時期について。詳しい計画は教えられるか？

③黄色の調整中（P12）は、最終的にいつごろを目途に確定させるつもりか。

④グリーンベルトについて。できるだけ工期を圧縮するというのは、何か秘策があるのか。

→ ①約 3m程度です。

②当初 8 番と 13 番が同じ時期に着手予定でしたが、ずれる予定です。13 番は少し着手が早まる予定です。南側から調査開始、（磁気探査、）地盤改良、造成といった計画です。

③基本的に計画に同意をほとんどいただいています。年内を目途に考えています。

④水門の製作をメーカーへ発注するが、制作期間を短縮できないか交渉していきたいと考えています。

公共ふ頭の計画はどうなっているか。

→ 県で用地買収をすすめている状況です。(担当は市ではなく県であり、前回のまち協の際にも県の担当者に説明してもらいました)

海の方から工事しているのかわからないが、工事の時に土砂災害に注意して、沢などにも気配りして工事を進めてほしい。

→ その通りだと思います。浜町・東前については沢があるので、仮設管を設置するなど対策をとりながら工事を進めていきます。

「要塞が出来上がったら人がいなかった(公営住宅を作ったら、入居者が全然いなかった)」などということはないだろうか？

→ 個別面談を行い、必要な宅地の数を確認するなど、そのようなことが無いように進めています。

魚河岸の整備について、地面から海水が湧きでていたが把握しているのか？

→ 震災により地盤沈下したため、海水が逆流して海水がたまってしまうという状況です。嵩上げは海からの逆流水対策として、今の状態にならないように高さを決めています。

地面を掘ったところから、海水がでてくる。そのことに市役所では工事上指導されているか。

→ この地域では、震災前から地下水位が高い為、1 m程度の掘削で地下水が出て来ます。工事中も水が出てくることは確認しています。そういうところへは、岩ずり等大きな砕石を埋める対策等をとっています。

(市長)：本日は様々なご意見をいただきありがとうございました。今回は新しい副市長の田中透氏が出席いたしました。以前は嶋田氏が副市長を勤めておりましたが、今回の田中氏も財務省から来ていただいています。7月から勤めておりますので今後ともよろしく願いいたします。それから、港町に関してのお話がありました。もっともなご意見だったと思います。本日は、港町から鈴子町までのエリアが対象ですが、駅前につきましては一部ロータリーにして大型バスも入れるようにしようとしています。同じく港町につきましても、県の事業とはいえ釜石市東部地区のまちづくりの一環で、皆様に土地を提供していただいております。次回からはきちんと、状況についてご報告いたします。東部地区においては、地権者の方々にご協力いただいたおかげで、復興計画の形が見えるところまで来たといった所です。改めて、地権者の皆様、市民の皆様に感謝を申し上げます。今後は、より具体的な工事の進捗等を皆様にお示ししつつ、進めてまいります。

バス停についてのご意見もいただきました。東部地区だけの問題ではないのですが、今後公営

住宅に移り住んだり、ご自身で住宅を再建されたりすると思います。

交通機関等の問題につきましては、その都度検討させていただくほかはないと考えています。今後もまちづくり協議会や町内会で、ご意見をいただきながらすすめていただければありがたいと思っております。

水産加工のエリアにつきましては、まだまだ用地交渉が終わっていない箇所もございます。現在は住宅に関する交渉を優先に進めさせていただいておりますが、引き続き水産加工団地の形成も進めていきます。釜石市民の方々が、釜石のどこに住んでも幸せに暮らせるように、取組んで参りたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

(閉会 15 : 30)

以上